

女子ホッケー日本代表チーム ワールドリーグ セミファイナル

日付	2015年6月25日 12:00~13:20		
場所	ベルギー・アントワープ	天候	晴れ
試合	第3戦	通算結果	1勝1敗1分け

RESULT

Country

日本
JAPAN

Final	2 - 2
Third Period	2 - 2
Half-time	2 - 2
First Period	2 - 1

Country

イタリア
ITALY

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
	1	大家涼子(GK)			
8	2	坂井志帆	42		
✓□	5	中川未由希(C)			
4	7	大塚志穂			
✓□	8	林なぎさ			
✓□	9	中島史恵			
✓□	10	加藤彰子			
✓□	11	柴田あかね			
4	12	三橋亜記			
✓□	13	及川 栞			
✓□	14	阪口真紀			
5	15	西村綾加			
✓□	16	永井友理			
5	17	永井葉月			
✓□	18	浅野祥代(GK)			
✓□	19	小野真由美			
4	20	真野由佳梨			
✓□	21	山本由佳理			

Head Coach	永井祐司
UMPIRE	TRIVIC Melissa(AUS)

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓□	2	TRAVERSO Celina	19		
✓□	5	AGUIRRE Constanza			
	6	NOGUEIRA Florencia			
✓□	7	BRACONI Valentina			
✓□	8	RONDISVALLI Macarena			
12	9	GARRAFFO Maria			
✓□	10	MIRABELLA Dalila			
✓□	12	CHIRICO Martina(GK)			
6	14	PACELLA Elisabetta			
✓□	15	SOCINO Maria	23		
38	16	LECCHINI Martina			
✓□	17	TIDDI Chiara(C)			
25	18	LOVAGNINI Aldana			
12	19	di MAURO Eleonora			
✓□	21	WYBIERALSKA Agata			
	22	DONATI Maria(GK)			
✓□	25	RUGGIERI Giuliana			
✓□	32	CASALE Marcela			

Head Coach	FERRARA Fernando
UMPIRE	KANG Hyun Young(KOR)

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	4	柴田あかね	FG	1-0
ITA	7	BRACONI Valentina	PC	1-1
JPN	15	加藤 彰子	PC	2-1

Team	Minute	Name	Action	Score
ITA	29	BRACONI Valentina	FG	2-2

ワールドリーグセミファイナル第3戦は、世界ランキング16位のイタリアとの対戦。
 (第1クォーター) イタリアのセンターパスにより試合が開始される。日本は立ち上がり4分、後ろからのボールを受けた中島がサークル内で待つ永井友理へパス。このボールをすかさずゴール前へ流し加藤が飛び込むが合わせられず通過したかに見えたが、後方から走りこんできた柴田がリバースでレシーブし、角度のない所からヒットシュートを決め先制。これで勢いに乗った日本は、6分にもライト側より攻め込みPCを取得。しかし、相手GKに防がれ追加点にはならず。一方、イタリアは、強引な縦へのドリブルと後ろからのロングボールでチャンスを狙う。7分、DFの反則からPCを取得され同点にされる。15分には、柴田がレフト側から回り込みPCを取得すると、坂井からのボールを加藤が決め再びリードする。
 (第2クォーター) 19分相手サークルトップからのFHを永井葉月がスライディングでカット。こぼれたボールを永井友理が中央に走りこんでくる山本へダイレクトでパス。そのまま山本から大塚へパスが入りシュート。これがPCとなり、なんとか追加点がほしい日本であるが得点することができない。さらに25分、4回目のPCを取得。このチャンスを確実に得点に結び付けたい日本は、林から及川へとパスを送り得点を狙うが、一瞬入ったかと思われたボールを相手DFがファインプレーで阻止する。逆に29分、23M外側からのボールを直接ゴール前に入れられGK前でタッチされ同点にされ前半を折り返す。
 (第3クォーター) ショートパスとロングパスを織り交ぜ攻撃を仕掛ける日本は、オープン攻撃からチャンスを狙うが、最終のパスがあわずなかなかチャンスを作り出すことができない。35分、PCを取得。しかし、ビデオ判定により覆る。40分、大塚がレフト側よりドリブルで突破しチャンスを作り出そうとするがGKに阻まれる。42分LC、サイドチェンジよりセンタリングしたボールをゴール前で三橋がタッチするがゴールに嫌われる。
 (第4クォーター) 47分、ライト側から中川、永井友理とボールが渡り、決定的な場面を迎える。このビッグチャンスにゴール前に走りこんできた加藤へパスが入ると、加藤はダイレクトでシュートするが、ゴールポスト右側へボールは外れていった。55分、大塚がPCを取得するが、うまくボールが止まらず相手ボールとなる。57分、一瞬の隙をつかれPCを奪われる。相手がシュートしたボールがゴールに突き刺さるが、ビデオ判定の結果ノーゴールとなる。58分、サークルトップのFHからPCを取得するが、これもビデオ判定の結果、相手ボールとなる。2-2同点まま試合が終了した。

日本	10	シュート数	1	イタリア
	5	PC数	2	

次戦(第4戦) 6月27日 12:00 ~ 日本対韓国

記載責任者: 女子コーチ 長谷部謙二